

津市長が選ぶ 平成30年市政の10大ニュース



平成30年12月21日

津市長が選ぶ平成30年市政の10大ニュース一覧

1 インターハイ開催 県内最多の
5競技6会場で熱戦

2 「3つのこども園」開園

3 津北部地域海岸堤防の
整備着工

4 子ども医療費窓口無料化
障がい者医療費助成の拡大

5 小中学校に教員支援員配置

6 国登録有形文化財
旧明村役場庁舎の一般開放

7 大型家具等ごみ出し支援事業
スタート

8 災害時の応急給水確保のため
の小学校受水槽への蛇口設置

9 中勢沿岸流域下水道
志登茂川処理区の処理開始

10 台風による大規模停電

1

インターハイ開催 県内最多の5競技6会場で熱戦

7月26日から8月12日の間、高校生最大のスポーツの祭典
全国高等学校総合体育大会(インターハイ)を開催

津市では5競技6会場に**13万人**が来場

ハンドボール



(サオリーナ、安濃中央総合公園内
体育館、津高等学校体育館)

女子バレーボール



(サオリーナ、芸濃中学校体育館)

レスリング



(メッセウイング・みえ)

なぎなた



(久居体育館)

柔道



(サオリーナ)

©Inter High



サオリーナ・三重武道館はオープン1年で**来場者51万人**達成

2

「3つのこども園」開園

市立初の幼保連携型認定こども園 4月に開園

津みどりの森こども園



香良洲浜っ子幼児園



白山こども園



質の高い一体的な幼児教育と保育が可能に
3園あわせて**591人**(12月1日現在)の子どもたちが利用

3

津北部地域海岸堤防の整備着工

上野地区海岸堤防

9月25日、市道国道
大蔵園海岸線南側から
県が整備を開始

平成30年度事業費
1億500万円

白塚漁港海岸堤防

国から2/3の補助が受けら
れる海岸保全施設整備事業
として新規認定され、
県が地質・測量調査を開始

平成30年度事業費
9,000万円

栗真地区海岸堤防

県管理から国の直轄事業へ

津松阪港海岸における国直轄の
堤防整備が北側の県管理の栗真地区
海岸堤防まで1,165m延伸され、
国が基本設計を開始

延伸により、津松阪港海岸
堤防と切れ目なく整備

千里地区海岸堤防

上野地区海岸堤防

白塚漁港海岸堤防

河芸工区

白塚工区

栗真地区海岸堤防

津松阪港海岸堤防

白塚地区海岸堤防

1,165m

早期整備に向けて3つの動きが同時進行

9月1日から未就学児の子ども医療費の窓口無料化、 精神障害者保健福祉手帳2級所持者の通院医療費助成を開始

未就学児の子ども医療費の窓口無料化

○:三重県補助事業 ◎:津市単独事業

対 象	未就学児 (乳幼児)	小学生	中学生
	通院・入院	通院・入院	通院・入院
子ども医療費	○	○	◎
助成方法	窓口無料	自動償還払	

- ▶ 子育て支援
- ▶ 重症化予防
- ▶ 経済的負担の軽減

精神障害者保健福祉手帳2級所持者の 通院医療費(1/2)助成

○:三重県補助事業 ◎:津市単独事業

対象者 対象 医療費	精神障害者 保健福祉手帳		身体障害者手帳			療育手帳		
	1級	2級	1級	2級	3級	A1	A2	B1
入院	(※1) ◎	(※1) ◎	○	○	○	○	○	(※2) ◎
通院	○	◎	○	○	○	○	○	(※2) ◎

※1 長期(90日超)の入院医療費(精神科)を1/2助成

※2 身障4級かつ療育B1の場合は県補助対象

- ▶ 経済的負担の軽減
- ▶ 総合的な健康づくり
- ▶ 障がい者の自立を支援

5

小中学校に教員支援員配置

三重県初

4月1日から津市独自の取り組みとして、
小中学校に教員の業務を支援する**教員支援員を配置**

(一身田小、千里ヶ丘小、橋北中、久居中の4校)

事務作業



教員の事務作業を直接支援

相談・助言



再任用職員(元幼稚園長など)を配置

- 市行政経験を生かした助言・相談
- 市や県、関係機関との連絡調整役

教員が子どもたちと向き合う時間を確保

6

国登録有形文化財 旧明村役場庁舎の一般開放

9月2日、国登録有形文化財 旧明村役場庁舎を一般開放

整備前



平成18年11月29日 国登録有形文化財(建造物)に登録

耐震補強や内・外装工事、駐車場の整備
文化財としての保存と公開活用

1階 ギャラリー・展示室

資料展示、紙芝居、ミニ講座等
で地域の歴史を学ぶ場



2階 地域学習室

放課後子供教室、地域
コミュニティ活動の場



整備後



事業費 1億6,890万円

一般開放後、見学者**1,218人**、子供教室などの
利用者**596人**(11月30日現在)が来館

7

大型家具等ごみ出し支援事業 スタート

4月3日から大型家具等を壊すことやごみ一時集積所まで運ぶことが
困難な方を対象に、無料での大型家具等ごみ出し支援事業を開始

「要介護1以上の者又は障がい者」のみで
構成される世帯(約18,000世帯)を対象に
市職員が直接訪問して収集

市民の声

- 対象世帯を拡充してほしい
- 普段のごみ出しはできるが、大きな家具類は重くて
ごみ一時集積所まで運べない

さらに支援が行き届くようにするために

10月1日から「要支援1以上の者又は障がい者」
のみで構成される世帯(約21,000世帯)
へ対象者を拡大



収集受付件数 171件
(12月14日現在)

8

災害時の応急給水確保のための小学校受水槽への蛇口設置

三重県初

身近な避難場所である**小学校の受水槽へ蛇口を設置**

平成30年度

小学校40校、中学校1校、義務教育
学校の近隣配水池施設1カ所に設置

受水槽に蛇口をつけることで

大規模災害時における飲料水を確保

- ▶ 1台の給水車で複数カ所の受水槽等へ巡回給水ができる
- ▶ 市民自らが、直接蛇口から水を利用できる
- ▶ 水道局職員や給水車が避難所に常駐しなくてよい

事業費 1,860万円



戸木小学校

三重県の中勢沿岸流域下水道志登茂川浄化センターが完成
計画処理人口は約78,000人



志登茂川処理区計画図

4月から津(北部)地域・
河芸地域・安濃地域の一部で
公共下水道の処理が始まり、
既に**約6,000人**が使用



10

台風による大規模停電

7月から9月に相次いで上陸した台風の影響で
大規模な停電が発生



台風第21号により停電した市内の信号機

最大停電戸数

7月

【台風第12号】約63,600戸

8月

【台風第20号】約 2,500戸

9月

【台風第21号】約29,000戸

【台風第24号】約 8,400戸